

## 取扱説明書

### ワイヤレスマイクロホン

品番 **WX-4400C**

工事設計認証品



上手に使って上手に節電

## もくじ

### はじめに

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
用語について	3
安全上のご注意	4
使用上のお願い	6
電波法に関してお守りください	6
取り扱い上のお願い	6
上手な使いかた	6
各部の名前と働き	7

### 使いかた

周波数設定のしかた	8
充電式電池の交換・確認のしかた	9
充電電池交換のしかた	9
充電のしかた	10
電源表示灯と電池残量表示について	10

### 補足

お買い上げ時の設定について	11
故障かな！？	12
周波数表	14
保証とアフターサービス	15
仕様	裏表紙

### 保証書別添付

- このたびは、ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4ページ～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  - 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

## 商品概要

本機は、充電専用プレストーク型の800 MHz帯PLLワイヤレスマイクロホンです。

充電器は、ワイヤレスマイク用充電器（WX-4450：別売品）をご使用ください。

- ワイヤレス受信機（WX-4020B, WX-4040B：別売品）と組み合わせて使用することにより、使用電池の残量を受信機に表示させることができます（10ページ参照）。
- 送信周波数はグループ用、チャンネル用の切替スイッチを操作することにより変更できます。
- 1回の充電で約20時間（20%使用率\*、5時間充電時）使用できます。
- 抗菌樹脂を採用しています。  
※1分使用で4分休止の繰り返し

## 付属品をご確認ください

小型ドライバー	1本	取扱説明書（本書）	1冊
表示ラベル（グループ・チャンネル）	1式	保証書	1式

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、運用ができないことと被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害
- ⑦ 故意または偶然の結果、通話内容が第三者に傍受・漏えいすることによる不便・損害・被害  
本商品の無線通話はアナログ方式を採用しており、傍受を抑制する機能はありません。故意または偶然の結果、第三者が傍受し、通話内容を知り得ることがあります。

## 用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

### 送信機

ワイヤレスマイクシステムにおける、電波を送信する機器（本機を含む）の総称です。

### 受信機

ワイヤレスマイクシステムにおける、電波を受信する機器の総称です。

### ワイヤレスアンテナ

ワイヤレスマイクシステムにおける、電波を受信するためのアンテナの総称です。WX-4020B、WX-4040Bなどの据置型の受信機では、別途ケーブルを使用して接続されるアンテナを指します。

### PLL（フェーズロックドループ）シンセサイザー方式

自動的に周波数のずれを修正し、安定して信号を送信する方式です。

### グループ

各チャンネルの送信周波数を、使用するチャンネル数に合わせてあらかじめ選択し、組み合わせたものです。使用目的や環境に合わせて選択します。

### チャンネル

同一グループ内で、同時に送信可能な周波数に番号をつけたものです。1チャンネルに1周波数が割り当てられ、本機1台で、1チャンネルの電波の送信が可能です。単に周波数を数えるときは、1波、2波・・・と数えま

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

はじめに

## 危険

### 充電式電池を分解・改造しない



分解禁止

液もれ、発熱、破裂の恐れがあります。

### 充電式電池の+-端子をショートさせない



禁止

液もれ、発熱、破裂の恐れがあります。

### 充電式電池の火中への投入や加熱をしない



禁止

液もれ、発熱、破裂の恐れがあります。

### 専用充電器 WX-4450 を使うこと



専用充電器以外で充電すると、液もれ・発熱・破裂の恐れがあります。

## 警告

### 分解・改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 航空機内では電源を切る



運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

### 医用電気機器に近づけない (手術室、集中治療室、CCU\* 等には持ち込まない)



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

禁止

\*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

### 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

禁止

### 異常があるときはすぐ使用をやめる



煙が出る、においが出るなどそのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに、販売店にご連絡ください。

### 屋外で使用するとき雷が鳴り出したら、体から離す



落雷の原因になります。

- ただちに使用をやめ、体から本機を遠ざけてください。

### 心臓ペースメーカー装着者は使用しない



本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

禁止

### 心臓ペースメーカー装着者に配慮して、満員電車などの人混みでは電源を切る



本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

### 強い衝撃を与えない



禁止

本機をハンマー代わりにして釘を打ち込むなど、強い衝撃を与えないでください。内部充電式電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因になります。

# 使用上のお願い

## 電波法に関してお守りください

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

### 海外でのご使用

海外で使用しますと各国の法律に違反する場合があります。

### 工事設計認証表示について

本機は、電波法で規定される工事設計認証品です。機器一台一台にその認証番号（認証ラベル：下記記載）が表示されています。みだりに剥がしたり、損傷しないでください。認証ラベルが剥がれた状態で使用することは法律で禁じられています。



認証番号

### 違法改造しないでください

本機を分解したり、内部の部品にさわったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

## 取り扱い上のおお願い

### 取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当たったりしないでください。

### 水は禁物

雨の中での使用や直接水のかかる場所では使用しないでください。故障の原因になります。

### お手入れについて

乾いた布でふいてください。ひどい汚れは水を少し布につけてふき、最後にからぶきしてください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

## 上手な使いかた

### マイク部と口との距離

マイク部は口から2 cm～5 cm離してご使用ください。明瞭でひずみのない音を再生します。また、マイク部を口に近づけると低音が強調されます。

### 話すときは

プレストークスイッチを使用しておりますので、話す前にプレストークスイッチを押し、話し終わったら、プレストークスイッチを離してください。不必要な電池の消耗を防ぎます。

### ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカーの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしばるか、本機の使用位置を移動してください。

### 充電について

- 初めて使用する場合や、長い間(1か月以上)使用していなかった場合などは、必ず充電してからご使用ください。
- 充電器は、必ずワイヤレスマイク用充電器 WX-4450(別売品)をご使用ください。

### 使用温度範囲は0℃～+40℃

+10℃以下になりますと、使用電池の寿命が短くなりますので、動作時間などにご注意ください。

### 放置しないで

アンプなどの発熱の多い機器の上や夏の閉め切った車内のような温度、湿度の高いところには放置しないでください。

### 充電式電池について

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルに協力ください。



Ni-MH

### 電波の到達距離は

本機とワイヤレスアンテナ間は、屋外で約60 m、屋内で約30 mまで離れて使用できます。これ以上離れると使用できません。(上記の距離は、受信機および混合分配器のフィールド選択スイッチが「標準」、アンテナ感度スイッチが「0 dB」の場合)

### 雑音が入るときは

ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2 m～10 mが適当です。ワイヤレスアンテナから2 m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。

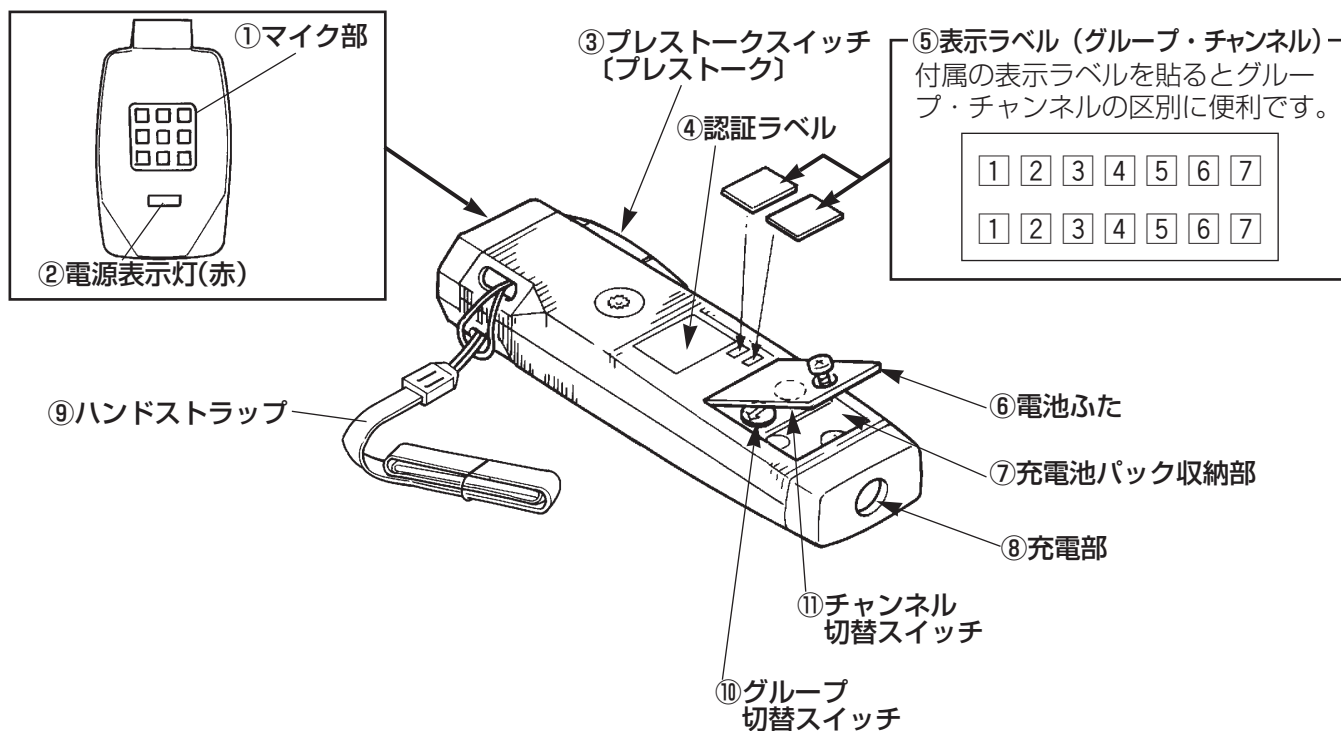
### 本機どうしは、50 cm以上離して使用する

本機2本以上を50 cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。

### 強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生することがあります。

# 各部の名前と働き



## ①マイク部

話している声を集音します。(6ページ)

## ②電源表示灯

本機の電源ON/OFF状態や、本機の電池残量などを表示します。プレストークスイッチから手を離すと電源はOFFします。(6ページ)

## ③プレストークスイッチ

本機の電源をON/OFFします。  
本機を手に持った状態で、スイッチを本体側に押すと電源がONし、話すことができます。(6ページ)

## ④認証ラベル

電波法に義務付けられた認証番号を表示しています。(6ページ)

## ⑤表示ラベル (グループ・チャンネル)

使用している周波数を区別するのに便利です。(8ページ)

## ⑥電池ふた

乾電池を出し入れするときや、各種スイッチを操作するときは、この部分を開けます。(8ページ)

## ⑦充電地パック収納部

充電地パックを収納します。(9ページ)

## ⑧充電部

## ⑨ハンドストラップ

## ⑩グループ切替スイッチ [グループ]

使用する周波数のグループを選択します。(8ページ)

## ⑪チャンネル切替スイッチ [チャンネル]

グループ切替スイッチで選択したグループの中のチャンネルを選択します。(8ページ)

# 周波数設定のしかた

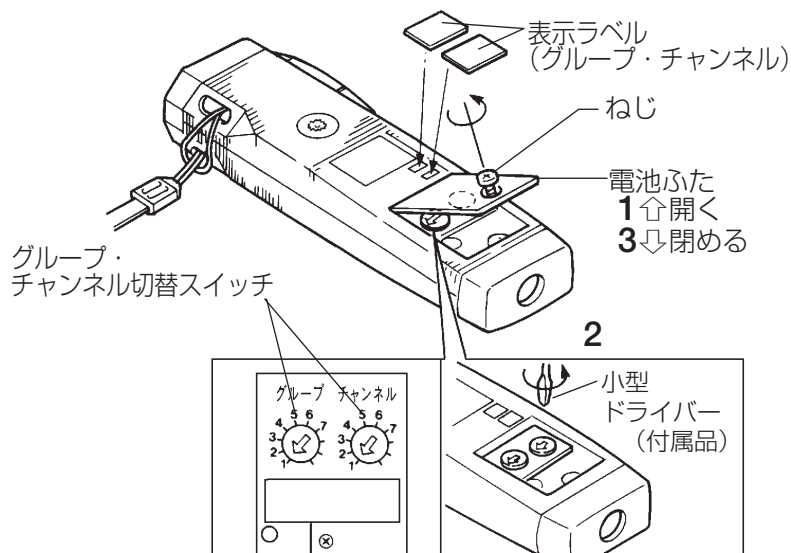
- 本機と受信機は、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するワイヤレスマイクロホンは、グループをすべて同じにし、チャンネルを変えてください（同グループ、異チャンネル）。送信周波数表（14ページ）をご参照ください。

複数のワイヤレスマイクロホンを使用する場合は、下記の「グループについて」をお読みください。

- 1** 電池ふたを開けます。  
ドライバーで取付ねじをゆるめて、矢印方向（右図参照）に開きます。

- 2** グループ・チャンネルを設定します。  
小型ドライバー（付属品）で、受信機のグループ・チャンネルと同じ数字に合わせます。

- 3** 電池ふたを閉めます。  
ドライバーで取付ねじをしめて、元通りにしっかり閉めます。



## グループについて

- 同じ場所で複数のワイヤレスマイクロホンを同時に使用するときは、グループをすべて同じにし、チャンネルを変えて使用します。  
学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとに異なるグループのワイヤレスマイクロホンを割り振ります。
  - ・グループ1～4……最大6波まで。・グループ5……5波まで。・グループ6……1波まで。
  - ・グループ7 ……7波まで。ただし、隣接した他の部屋では他のワイヤレスマイクロホンは使えません。

### 重 要

- 送信周波数表(14ページ)に無いグループ・チャンネルに設定した場合、また、グループ・チャンネル切替スイッチが数字の位置に設定されていない場合は、電源表示灯が早い点滅をし、送信できません。そのままの状態にしておくと、電池を消耗します。14ページの周波数表を参照してください。
- クリック音防止のため、受信機やアンプ、ミキサーなどのボリュームをしばってから行ってください。
- 同時に複数の送信機をご使用になる場合は、本機も含めてすべての送信機を同じグループにし、それぞれの送信機をグループの中の違うチャンネルに設定してください。  
また、となり合った125 kHz間隔の周波数は、お互いに影響することがありますので、100 m以内では使用しないでください。
- 「7」グループをご使用になる場合は、送信機間の距離に十分注意してご使用ください。詳しくは14ページをお読みください。



# 充電式電池の交換・確認のしかた

本機の電池は、充電式です。充電器は、必ずワイヤレスマイク用充電器（WX-4450：別売品）をご使用ください。充電器の取扱説明書も必ずお読みください。

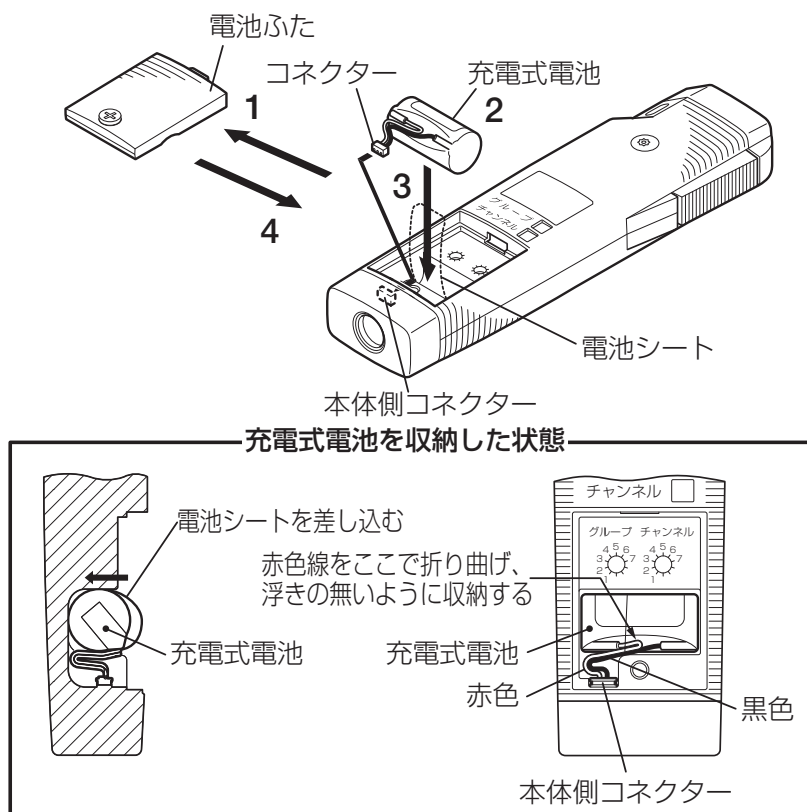
—お願い—

- 次のような場合は、充電式電池が完全放電に近い状態です。すみやかに充電を行ってください。
  - ・ プレストークスイッチを押しても、電源表示灯が点灯しない場合
  - ・ 電源表示灯が遅い点滅をした場合
- 初めて使用する場合や、長い間（1か月以上）使用していなかった場合などは、必ず充電してからご使用ください。
- 本機の内部に使用している充電式電池の充放電回数は約500回です。これ以上の回数を過ぎた場合や充電式電池が古くなってくると、充放電効率が大幅に低下します。早めに交換してください。交換の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
充電式電池：HHR-041G1（消耗品）

## 充電式電池交換のしかた

充電式電池を交換する場合は、下記の手順で行ってください。

- 1** 電池ふたを開けます（前ページ「周波数設定のしかた」参照）。
- 2** 電池シートの下の充電式電池のコネクターを抜いて取り外します。
- 3** 本体側コネクターに新しい充電式電池のコネクターを接続して収納します。
- 4** 電池ふたを閉めます（前ページ「周波数設定のしかた」参照）。

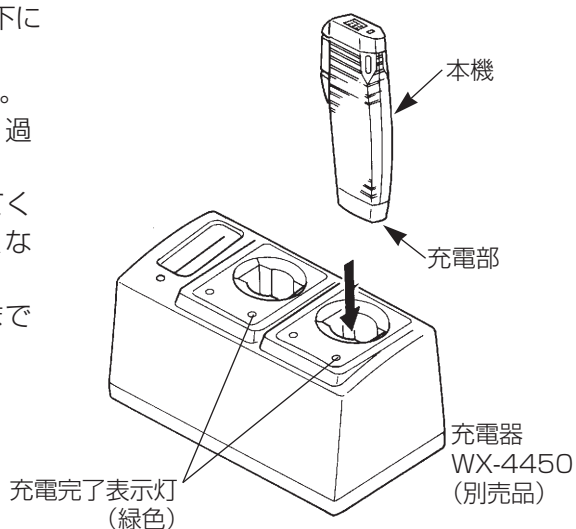


## 充電のしかた

充電器（WX-4450：別売品）の差し込み口に、本機の充電部を下にして入れます。

約5時間で充電が完了し、充電完了表示灯（緑色）が点灯します。

- 充電途中で本機を差し込み直すと、最初から充電を開始し、過充電になりますのでご注意ください。
- 充電は、できる限り本機の電源表示灯が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、本機の使用時間が短くなる場合があります。（充電電池のメモリー効果）メモリー効果が発生したら、本機の電源表示灯が点滅するまで使用してから充電してください。



## 電源表示灯と電池残量表示について

使  
い  
か  
た

電源ON/OFF状態と電池残量は本機の電源表示灯で確認することができます。

充電電池パック残量の目安は以下のとおりになっています。（常温25℃使用時）

マイクの表示	状態	充電電池パック残量の目安
赤色点灯	使用可能	5時間充電、20%使用（1分使用で4分使用の繰り返し）で20時間
赤色遅い点滅	電池交換が必要	電池残量が残り少ない※
消灯	電源OFFまたは使用不可	電源ONしても点灯しない場合は電池残量がないため、充電が必要（→交換については9ページ）

またワイヤレス受信機（WX-4020B, WX-4040B：別売品）を使用することでマイクの電池残量を受信機側で表示できます。

プレトークスイッチ「ON」後、約10秒で、使用中の電池残量を示すデータが自動的に送信されます。その後、約1分ごとにデータが再送信されます。ワイヤレス受信機（WX-4020B, WX-4040B）の取扱説明書を必ずお読みください。

受信機の表示の目安は以下のようになっています。（常温25℃使用時）

受信機の表示	状態	充電電池パック残量の目安
緑色点灯	使用可能	5時間充電、20%使用（1分使用で4分使用の繰り返し）で20時間
橙色点灯		
赤色点滅	電池交換が必要	電池残量が残り少ない※
消灯	電源OFFまたは使用不可	電源ONしても点灯しない場合は電池残量がないため、充電が必要（→10ページ）

※電池残量が残り少ない、または電池残量がない場合：すみやかに充電してください。

### メモ

- 電池残量データを検出し表示できるワイヤレス受信機は、WX-4020B, WX-4040Bです。その他の受信機では、電池残量を表示することはできません。
- 受信が途切れると電池残量表示はリセットされますが、再度データを受信すると再点灯します。

# お買い上げ時の設定について

各種設定をお買い上げ時の状態に戻したい場合は、それぞれの操作スイッチを以下に従って設定してください。  
なお、設定のしかたはそれぞれの操作の説明のページをお読みください。

スイッチ	設定範囲	お買い上げ時の状態	参照ページ
グループ切替スイッチ	1～7	1	8
チャンネル切替スイッチ	1～7	1	8

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない (電源表示灯が点灯しない)	▶ ●充電式電池は入っていますか？ 充電式電池を入れてください。	9
	▶ ●電池が消耗していませんか？ 充電を行ってください。	10 充電器の 取扱説明書
	▶ ●充電式電池のコネクターが抜けていませんか？ 充電式電池のコネクターを確実に差し込んでください。	9
電源表示灯が点滅して いて使えない	▶ ●グループ切替スイッチとチャンネル切替スイッチは、 周波数表で空欄のものを使用していませんか？ グループ切替スイッチとチャンネル切替スイッチの設 定を確認してください。	8 受信機の 取扱説明書
受信がまったくされ ていない (受信機側 で音声が出力されな い、受信レベル表示 が反応しない)	▶ ●本機が送信する周波数と受信機が受信する周波数の設 定は合っていますか？ グループ、チャンネルの設定を、周波数表を参照しな がら受信機と同じにしてください。受信機側の周波数 設定については、受信機の取扱説明書を参照してくだ さい。	8 受信機の 取扱説明書
	▶ ●受信機側システムの各機器間は、正しく接続されてい ますか？ 受信機側システムの接続とケーブルを確認してください。	受信機側 システムの 各取扱説明書
	▶ ●受信機側システムの中に、電源がOFFになっている受 信機やワイヤレス混合分配器はありませんか？ 運用中は、システムのすべての機器の電源をONにし てください。	受信機側 システムの 各取扱説明書
	▶ ●グループ切替スイッチ、チャンネル切替スイッチがク リックで止まる位置に設定されていますか？ グループ切替スイッチ、チャンネル切替スイッチの設 定を確認してください。	8

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
混信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の近くに他の送信機がありませんか？ 他の送信機とは離してお使いください。</li> </ul>	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くでその他のワイヤレスシステムを使用していると、混信する場合があります。 その他のワイヤレスシステムの設定を確認し、使用周波数が重複しないように本システムのグループまたはチャンネルの設定を変更してください。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">8</p> <p style="text-align: center;">受信機の 取扱説明書</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くに高周波を使う機器や雑音源があると、混信する場合があります。 本機とワイヤレスアンテナの距離を近くにご使用ください。</li> </ul>	—
受信機で、電池残量が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池残量表示対応の受信機を使用していますか？ 電池残量表示対応の受信機を使用してください。 ※本機、受信機の電源を入れた直後や、受信状態が悪い場合は、表示されないことがあります。</li> </ul>	10

# 周波数表

送信周波数(0.125 MHz間隔、30波)						
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)			チャンネル(下1桁目)		
	1	2	3	4	5	6 7※
806.125	B11					B71
806.250		B21				
806.375	B12					B72
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			B73
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250					B61	
807.375			B33			
807.500				B42		B74
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000			B43			
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				B75
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		B76
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750			B46			B77

※ 7波使用例

## ●周波数表中の記号の読み方

例 B 2 1



チャンネルを表します。

グループを表します。

「-」は「-」グループを表します。

- 「1」～「7」グループの各チャンネルは同時に使用することができます。

## メモ

- B型パナソニックの送信機をラムサの受信機と組み合わせる場合は、ワイヤレス受信機 WX-R822 (別売品) をご使用ください。それ以外の組み合わせでは、B型ラムサとの共用はできません。

## 「7」グループについて

「7」グループは、1～6グループの中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で十分に注意して使用した場合は、7波の組み合わせが可能になります。

送信機出力	送信機間の距離	ワイヤレスアンテナと送信機の距離
2 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、以下の部品については消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

- 充電式電池：HHR-041G1

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレスマイクロホンの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

12ページ～13ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、ただちに販売店または保守契約店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ご連絡いただきたい内容

製品名	ワイヤレスマイクロホン
品番	WX-4400C
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

補  
足

# 仕様

トーン信号	32.768 kHz
電波形式	F3E、F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW
到達距離	ダイバシティ受信機 WX-4020Bシステムにて約60 m (屋外) ※1
変調感度	±5 kHz FM (96 dB SPL 1 kHzにて)
使用マイク	無指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
周波数特性	100 Hz～10 kHz (1 kHz基準 50 μs エンファシス)
最大入力音圧	126 dB SPL
入力等価雑音	38 dB SPL以下 (Aカーブ)
制御方式	トーン信号によるASK
制御信号	電池残量用：3種類
使用電池	内蔵ニッケル水素蓄電池
消費電流	約 75 mA (1.2 Vにて)
電池寿命	約20時間 (20 %使用率時：※2) (5時間充電時) (常温25 °C連続使用にて)
使用温度範囲	0 °C～+40 °C
寸法	幅 45 mm 長さ 164 mm 厚さ 25 mm
質量	約120 g (電池含む)
仕上げ	ダークブルーメタリック調樹脂仕上げ

※1 受信機のフィールド選択スイッチは「標準」、アンテナ感度スイッチ「0 dB」です。

※2 1分使用で4分休止の繰り返し

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WX-4400C
	販売店名	電話 ( )	—			

## パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410